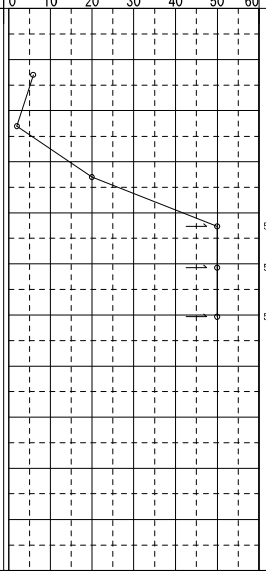
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託（ボタ谷川）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.5	調査位置	広島県呉市宮原	北緯	34° 13′ 36.5436″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和2年 9月11日～ 令和2年 9月12日	東経	132° 33′ 37.5289″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 102.99m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦製　DO-DR型
					エンジン：ヤンマー TF-90M　ポンプ：組込みBG-3C型

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂		暗褐	rd2		中～細砂主体。 φ2～4mmの亜角礫を含む。 GL-0.00～0.60m, シルトを5～15%程度含有する。 GL-0.70～0.80m, GL-1.45～1.55mにφ20～60mmの花崗岩質礫を含む。 GL-2.15m以深, 局所的に10～20%程度の粘土とφ2～3mmの亜角礫を含む。 GL-3.45～3.50m, GL-3.70～4.00mにφ20～40mmの亜角礫を含む。	9/12 無し
2										
3										
4	98.99	4.00								
5				風化花崗岩		茶褐			DH級花崗岩。 風化が進行し、土砂状で採取される。 指圧で破砕される。コア肌は粗い。	
6	96.99	6.00								
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験



N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	2	2	2	6/300		
	1.45						
2	2.15	1/150	1/150		2/300		
	2.45						
20	3.15	3	7	10	20/300		
	3.45						
50以上	4.15	17	23	10/30	50/230	230	
	4.38						
50以上	5.00	27	23/50		50/150	150	
	5.15						
50以上	6.00	50			50/70	70	
	6.07	70			70		

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				9/11
				9/12